



社民党吉田党首と 戦争法廃止を語る

金馬健二 宮本龍門 黒石健太郎 吉田ただとも 大石和昭

安民法制違憲訴訟
おかやま・弁護士
おかやま いっぽん
長泉寺 住職
参院選岡山選挙区
野党統一予定候補

社民党 党首・参議院議員
戦争をさせない1000人
委員会岡山・弁護士

パネラー写真上・右から 敬称略

党県連合は5月27日、戦争法廃止の活動を進める皆さんと参院選野党共闘の黒石健太郎さんの5者の討論会を開催。約75名が参加した。

わたしたちが いままで できること 市民・各団体と語り合う

治を許さない戦いは、いまスタートラインだと強調。黒石氏は、海外でテロに遭った自らの経験から戦争の脅威と、恩師も違憲と断じた安民法制が数で強行される政治。批判的なメディアを抑制など民主主義の根幹が公の秩序の名で制約される一強政治

政治を取り上げる様々な活動

岡山弁護士会主催の憲法記念県民集会在5月7日、シノフォニーで開催。市民ら2千人が参加。

「危機に立つ立憲主義―安民法廃止を目指してをテーマに憲法学者の小林節氏が講演「狼がくる」といって戦争できる国を作った。まさしく戦争法だ」「戦後、憲法で(戦争を)縛ってきたのは財産だ」「本当に危ない。あらゆる努力を」と訴えた。(写真下は講演会後のパレード)



5/7憲法記念集会上に2千名以上が参加。主催：岡山弁護士会

を交代させる戦いと決意。また、安民法制が基本的人権を侵害すること、廃止運動の一翼を担う戦い(違憲訴訟金馬氏)。市民の感覚を大事に市民の風を感じる運動(いっぽん・宮本氏)。政治に無縁だった人たちが集まる広がり(千人委、大石氏)などが報告され、会場参加者も発言改憲勢力3分の2阻止を勝ちとろう(詳細報告別途・野崎



民主主義を揺るがすもの

始めに社民党吉田党首から会期末の国会情勢を報告、参院選は①違憲の戦争法、立憲主義否定で平和国家のあり方をぶち壊し改憲を狙うアベ政権の暴走ストップ、②原発再稼働、辺野古新基地建設など国民生活に背を向けるアベ政

シンポジウム先立ち昼に岡山市内で吉田党首・黒石健太郎両氏が交互にマイクを握って訴え。ある年配女性は「戦中派だからよくわかる。物言えぬ社会にさせてはならない」と応援すると話してくれた。

5月の党県連合主な動き

- 5/1 メーデー連帯ピラ(旭川・津山)
- 5/3 総がかり・憲法学習会
- 5/7 憲法記念講演会(岡山弁護士会)
- 5/10 「新報」読者会
- 5/13 県連合常任幹事会
- 5/20 黒石氏 党常任幹事会であいさつ
- 5/21 政治を考えるトーク集會
- 5/21 総がかり行動・署名(岡山駅・東西)
- 5/25 党県連合定例街宣
- 6・29市民平和祭実行委員会
- 5/27 吉田党首・討論集會
- 5/29 黒石野党統一 市民討論集會
- 6/5 総がかり・国会包囲網と連帯岡山行動

この間、「新報」号外、黒石氏講演会リーフ、岡山県南区で集由配付行動と街宣車運行

定例学習・読者会

「新報」読者会(憲法学習会)
6月14日(第2火) 18時
弓之町「時事問題懇話会」
6月17日(第3金) 18時
※聞きたい・話したい人歓迎
いずれも岡山社会文化会館

想定外という言葉がはやったが、それで済まない「ありえない」ことが起きている。陣自が訓練で誤って実弾79発を撃ちあつたという(YAHO)。
▼実弾と空包は見た目にも一目で分かるはずだが、実弾と分かつてとなると次はどこで暴発するのか。自衛隊にいま何が起きているのか、ことは深刻だ▼政治の世界では話はハッキリしている。安倍首相は「戦後レジームからの脱却つまりは戦後の平和主義から「戦争できる国」へは自衛隊員への影響も少なくないだろう。違憲の戦争法強行は戦前回帰の妄想で、「立法院の長」発言にいたっては憲法否定だ▼先月号本欄の地震列島は自然の話だが、こちらは人のなせる偽装列島が暴走している。耐震偽装に会計偽装、燃費偽装、杭打・土木工事偽装。政治偽装には「怒りを超えてアキれる」では収まらない。影響の大きさ深刻さでは「原発安全神話」偽装だが、極め付きは安全保障という偽装で違憲の「戦争法」だ。参院選でストップ!アベ暴走政治(の)